

令和5年度 西東京市立上向台小学校 第1回 学校運営協議会

令和5年4月28日

議事録

第1回 上向台小学校運営協議会(要点記録)
日時 : 令和 5年 4月 28日(金) 10:30-12:00 場所 : 上向台小学校 ランチルーム 委員 : 出席 6名(欠席4名) 教育委員会関係者 : 教育長 ・ 指導主事 学校関係者 : 4名
委員10名中6名の出席により本会議は成立
(1) 教育長挨拶
○挨拶要旨 学校の教育活動へのご協力を御礼申し上げます。 本日、委員の皆様には委嘱状をお渡しいたします。 コミュニティ・スクールのスタートに際して、校長の学校経営方針に御理解いただき、よりよい学校にしていきたいと思います。 西東京市のコミュニティ・スクールは令和3年度からスタートし、今年度は、小学校11校、中学校5校となりました。 よりよい学校、地域に開かれた学校にするため、地域と学校が共に歩んでいけるようにしていきたい。 そのためには、学校は地域の方々に御意見をいただくとともに、地域の方々と協力し、学校運営を行っていく。多くの場面でお力添えをいただけたら、ありがたいです。 上向台小学校には、どんど焼きや展覧会など、多くの行事があります。そして、すなおなお子さんが多い。これまでの取り組みを継続することで、更によりよい学校になっていくことと思います。
(2) 委嘱・委員紹介
○委員(学識経験者) 本校 元校長 退職教員、大人の学びの支援をする勉強会を主催しています。 →子供に勉強を教える、退職した教職員に教える、親の相談にのる等。 地域側で学校をバックアップしていきたいです。
○委員(関係行政機関の職員) 幼稚園 園長40年目 農業と幼稚園を営んでいます。
○委員(地域住民) 体育協会 スポーツクラブ会長 本校にもメンバーの児童がいます。 17年間本校の用務主事をしていました。 現在も農業指導で、本校に関わっています。(2年、5年)
○委員(主任児童委員) 子供、高齢者のサロンを運営しています。 地域と学校の橋渡しがしたいです。
○委員(地域コーディネーター) 育成会ひろがり 会長 これから、先生方と協力していきたいです。
○校長 本年度着任 〈以下、職員紹介〉
○副校長

- 教務主幹
- 生活指導主幹
- 学校経営主任

(3) 会長・副会長の選任

会長、副会長の選出となります。西東京市 学校運営協議会規則 第10条第1項で協議会に「会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める」とされておりますので、御意見や立候補などありましたら、承りたいと思いますが、いかがでしょうか。

学校経験者及び関係行政機関のお二人に会長、副会長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

賛成多数により可決。会長、副会長の決定とします。

(4) 授業視察

(5) コミュニティ・スクール地域学校協働活動（校長）

なぜ、コミュニティ・スクールが必要なのか。

それは、急激な時代の変化に伴い、学校や地域を取り巻く課題がますます複雑化・多様化していることが背景にある。

これからの時代を生き抜く力を育成するためには、学校の教員の力だけでは難しく、学校以外の方々から学ぶことが大きい。

また、地域側から見ると、「誰かがやってくれる」という意識ではなく、子供たちが自ら地域を創っていくという「主体的な意識」、「当事者意識」への転換が必要となる。

子供たちや地域の輝く未来を創るためには、学校、家庭、地域による一体的な取組が必要で、それを実現可能にする仕組みの一つがコミュニティ・スクールである。

今、行っている学校運営協議会は、西東京市教育委員会から任命された委員の皆様から成り立つ組織の会議体である。

この会議では、学校評価アンケートなどを基に、保護者や地域の意見を学校運営に反映させ、上小の学校教育をどのように進めていくか協議・検討していく。また、地域の皆様と学校の目標や目指す児童像などのビジョンを共有していく。

地域学校協働活動は、例えば、地域にいらっしゃる専門家をゲストティーチャーとしてお招きして体験学習を行ったり、読み聞かせを運営したり、企業と連携したり・・・など実際の教育活動を行っていく。

また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、そのために熟議等を行う。熟議とは、熟慮と議論によって問題解決を目指す対話のこと。

学校運営協議会の年間計画にあるとおり、9月にCSマイスターをお呼びして、皆さんと新しいアイデアや考えが生まれる対話ができるような会を実施する予定。

学校運営協議会の3つの役割は

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること
- ③教職員の任用に関して、規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができることとなっている。

資料の学校運営協議会規則第4条にもありますが、任用については教育委員会に意見を述べる際には、あらかじめ校長の意見を聴取するとある。

今までの学校運営連絡協議会とどのように違うのかというと、今までは地域と学校の目標に大きなズレがあったり、その目標が共有されていない場合、「お互いに頼まれたから行う」、「去年も手伝ってもらったから行う」、という受け身の姿勢になってしまうことがある。

これは、地域にとっても直接的に自分たちのメリットとならないため、負担感ややらされ感があり、不満がたまる可能性もある。

コミュニティ・スクールでは、共通の目標を設定し、地域と学校が一体となって役割分担をしながら、それぞれが主体的に取り組むため、お互いに達成感を味わうことができ、それぞれが教育の「当事者」となることで、責任感をもち、積極的に子供への教育に携わることができるようになっていわれている。

他にも、学校と地域の協力体制が築かれることで、生徒指導や防犯、防災等の面でも、課題解決に向けた効果が期待される。

○会長

昨年度、前任の校長のもと、コミュニティ・スクールを受けたいというお話があった時に、上向台小はコミュニティ・スクールの土壌ができていくということで、新たにというよりは、その土壌を生かして更に伸ばして行くことができるということで、新校長の下でコミュニティ・スクールを受けることになりました。

(6) 学校経営方針 (校長)

学校経営方針 ※参照

【学校教育目標】

人にやさしさ 自分につよさ 生き抜くかしこさ

【学校像】

○一人一人の子供を主語にする学校

- ・一人一人の子供を主語にした学校教育という言葉は、「令和の日本型学校教育の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」という中教審の答申に出てくる言葉。
- ・先生方の視点で考えていた学校教育を子供たちの視点で捉え直そうという部分が強調されている。このことは生活指導でも学習指導でも生かしていけること。
- ・生活指導場面では、「子供が先生の言うことを聞かなくて、先生が困っている」ではなく、「子供たちが困っている」と考える。
- ・授業場面では、「先生がどうしたいか」ではなく「子供たちがどうしたいか」を考える。
- ・行動のみに目を向けるのではなく、背景を見とれる教員集団でほしい。
- ・学習指導では、子供が学習の主体者となって、学び方を子供たちに委ねる学習スタイルを目指す。
- ・一人で学ぶ子、複数で学ぶ子、先生と一緒に学ぶ子、自分で学び方を選択して学んでいく主体的な学びを少しの授業からでも挑戦していく。

○学ぶワクワク感のある学校

- ・学ぶことが楽しいと思える、感じられるような単元を、地域学校協働活動を通して考えていきたい。

【目指す教師像】

○一人一人の子供の良さや可能性を見出す教師

- ・良いところを褒めて伸ばす教師

○主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす教師

- ・先生が教えるというより、子供が学ぶ。学習者主体。自己選択、自己決定させる学びの実現

○学校をつくる組織の一人として協働できる教師

○保護者や地域に信頼される教師

【目指す児童像】

- ・人にやさしさ → 人や社会との「かかわり」や「つながり」を大切にする思いやりのある児童
- ・自分につよさ → 自ら心や体を鍛え、最後までやり抜く力を備えた児童
- ・生き抜くかしこさ → 自ら課題を見付け、解決に向け、学び続ける児童
- ・予測できない未来を生き抜く子供たちに、一人一人が自分の良さや可能性を見付けて色々な人と協働しながら正解のない社会を生き抜いていく力を伸ばしていきたい。
- ・学校教育がどうあるべきか、問い続けて行きたい。

【今年度の重点】

○令和の日本型学校教育 上向台小Ver.の推進

- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・これからの社会では、キャリアチェンジを続けて、学び続けていかなければいけない。
- ・自分の学びに主体的に取り組む力。児童が主体的に学びを選択して自立した学習者になることを目指した授業観になることを目指していく。子供たちが黒板の方を向いて静かに授業を聞いているから安心であるという感覚を変えていかななくてはならない。

○学校・家庭・地域が共にある学校づくりの推進

- ・地域の教育資源を活用した単元を開発していきたい。

○働き方改革の推進

- ・学校の本質を捉えた業務内容の精選。ICT環境を通じた校務の効率化。
- ・教職員の心理的安全性の確保

一人一人の子供が主語の学校をキーワードに学校づくりをしていきたい。子供自身が自ら学びに向かって行けるように、学びの伴走者として寄り添って、一人一人を大切にしていける指導をしていきたい。

○議事録の記録

- ・公開請求があった場合には、記録を公開しなくてはならない。
- ・要点記録でよろしいでしょうか。 → 承認

(7) 意見交換

○副会長

- ・子供の伸びる力はすごい。
- ・集団教育 学校の力が大きい。
- ・しっかりとした教育方針をもっていないといけない。
- ・とつても、子供たちがすてきでした。

○委員

- ・過去に落ち着かない子がいましたが、ここ何年かは、はるかに落ち着いている。
- ・上小の伝統、先生方の教育の賜物。
- ・今度、2年生と5年生と農業体験をしますが、言ったことをしっかり守ってできる。
- ・引き続き、子どもたちのためにがんばってほしい。

○委員

- ・学校が明るくてきれい。
- ・掲示物がやさしい。
- ・子供たちが幸せ。
- ・先生方の雰囲気も良かった。一番身近にいる大人が子供たちに影響を及ぼす。
- ・学校の先生の忙しさやいらいらさが反映されやすい。
- ・先生方も時間を調節してのびのびとしていただきたい。

○委員

- ・少人数の算数は良い取組。
- ・6年生の道徳、人の意見を見て良いところにシールを貼るという授業は初めてみた。人の意見を見て自分たちがどう思うのかというのは、良い取り組み。
- ・図工の授業で子供たちに話しかけたが、受け答えができていた。誰から話しかけられても受け答えができていた。
- ・上小の子はおっとりしている学校。それが良いところ。

○会長

- ・開かれた学校。作ったのは、保護者と地域の方々。子供たちは安心して過ごしているんだろうと思います。
- ・何かあれば、先生たちと地域の方々、道に立つとかの運動をやられてきたので、良いなと思います。本校を離れて6年になるが、先生たちが土台としているものが、変わらずにいてくれる。その当時から、よい学級経営、授業の仕方が残っている。ブレていない。

(8) 事務連絡

次回 6/16(金)に学校運営協議会を行います。

保険について

受領確認書について